

平成29年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	教員が学生と一緒に振り返る臨床実習のまとめ	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	医学部医学科	
※連携する他学部・機関がある場合は記入		
実施責任者(所属)	多田 剛 (医学部)	
取組の目標	学生がこの実習で「診療できるようになる」という目標に到達する。	
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>① 実習学生に対しては、学習レポートでは教科書的な疾患のまとめを書くのではなく、自分がこの実習を振り返って、<u>何を学んだのかを主観的に書くこと</u>、又、行動レポートでは指導医から教えられたことではなく、自分が患者や医療スタッフと具体的にどのような会話を<u>して、そこから何を得たか</u>を書くように、ポートフォリオの書き方をさらに徹底指導する。</p> <p>② 教員に対しても、臨床実習のまとめをどのように行うと効果的な振り返りができるのかをFDを複数回開催して普及させる。</p> <p>③ 学生にはルーブリック(基準表)に沿って作成するように指導し、教員にはそれに従って評価するように依頼した。</p>	
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望 (達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)	a. <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた	(そう評価する理由) 現実に実行している。
	b. <input type="checkbox"/> おおよそ達成できた c. <input type="checkbox"/> 半ば達成できた d. <input type="checkbox"/> おおよそ達成できなかった e. <input type="checkbox"/> 達成できなかった	(今後の展望) 引き続き発展に努める。